

## 1月 入会記念日 おめでとうございます

1月9日 宮本倫明会員 令和2年

### 訃 報

兼ねてより病氣療養中でございました、大阪難波ロータリークラブ名誉会員、吉田尚司氏が、令和8年1月23日金曜日 薬石効なく、ご長逝されました。（満86歳）

### 自衛隊大阪地方協力本部長プロフィール



やすだ ももとし  
安田 百年 氏（陸将補）

【出身】  
大分県

【学歴】  
防衛大学校（管理）第36期（平成4年卒）

#### 【主要経歴】

平成 5年 3月	第16普通科連隊	（大村）
16年 8月	陸上幕僚監部防衛部防衛課	（市ヶ谷）
21年 3月	統合幕僚監部防衛計画部計画課	（市ヶ谷）
24年 4月	第3師団司令部第3部長	（千僧）
26年 8月	第43普通科連隊長兼ねて都城駐屯地司令	（都城）
29年 3月	第8師団司令部幕僚長	（北熊本）
31年 4月	中部方面総監部防衛部長	（伊丹）
令和 3年 3月	東部方面総監部幕僚副長	（朝霞）
5年 3月	第1施設団長兼ねて古河駐屯地司令	（古河）
6年 12月	現職	

#### これからの予定

1月31日（土）	大阪難波RAC創立5周年記念式典
2月5日（木）	例会・定例理事会
2月7日（土）	地区チームラーニングセミナー
2月12日（木）	休会
2月13日（金）	IM第4組会長幹事会（金輪会）
2月19日（木）	例会
2月21日（土）	米山奨学生修了者終了式・歓送会
2月26日（木）	例会・新旧合同クラブ協議会

WEEKLY BULLETIN

OSAKA  
NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報

2026. 1. 29 No.2302

よいことの  
ために  
手を取りあおう



2025-2026年度 国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレッツォ  
会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」  
（第2660地区ガバナー 吉川 健之）

#### 今日の卓話

1月29日（木）

テーマ 職業奉仕月間卓話  
「昨今の安全保障環境と  
自衛隊の取組みについて」  
卓話者 安田 百年氏  
卓話担当者 藤原秀之職業奉仕委員長

#### 次回の卓話

2月5日（木）

テーマ  
「自己紹介」  
卓話者  
白野陽一会員

#### ロータリー4つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

#### 第26回例会 本日のプログラム

開 会 （点鐘） 通算第2302回例会

- ・ロータリーソング 「四つのテスト」
- ・歌 岡本優香さん
- ・ピアノ 倉田葉名さん
- 高山理帆さん（交替制）
- ・来客紹介 友好委員

#### 会 食

- ・会長報告 立花英司会長
- ・幹事報告 清水一人幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 S A A
- ・卓話

閉 会 （点鐘）

#### ♪ 四つのテスト

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

#### ニコニコ箱報告

前回の合計	¥65,000
本日までの累計	¥3,399,000 (113%達成)
1月末の予算額	¥3,000,000

#### 出席報告

前回	1月22日	3週前 12月18日
会 員 総 数	80名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率73.68%
出 席 会 員 数	53名	
出 席 率	73%	

大阪難波ロータリークラブ

創立 1976年8月5日

会長：立花英司 幹事：清水一人

事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60

TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957

例会日時 毎週木曜日 12:30

例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間

会報・雑誌委員長：大塚哲平 事務局：安部亜希子

事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60

スイスホテル南海大阪5階  
e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp



# 1月は「職業奉仕月間」です

前回の記録 第25回 1月22日(木)

★来客紹介：ありません。

★会長報告：立花会長

- 2026年度の台北国際大会でのRI主催親善朝食会の案内がきています。2026年6月13日～6月17日まで国際大会が台北で開催されます。開催式が行われる6月14日にグランドホテル台北12階で午前7時より親善朝食がRI主催で行われます。参加費用は¥12,000で締め切り日が3月11日までとなっておりますが締め切り前に定員が900名に達した場合はその時点で締め切られるようですのでご参加される方は早めに事務局の方まで申し込みお願い致します。
- 今月から例会でのテーブルの方ですが、テーブルマスターをベテラン会員の方、また副テーブルマスターを新しい会員の方になっていると思いますがテーブルマスターには、例会場でのマナーなどをお願いしたいと思います。また副テーブルマスターの方には、テーブル懇親会を開催する準備などをテーブルマスターや他の方に相談しながら進めて頂きたいと思います。川浦SAAが一生懸命テーブルを考えて頂いていますので宜しくお願い致します。
- 最後にロータリーの一言をお伝えします。親睦は奉仕の源であると言われてます。週に一度顔を合わせて挨拶するだけで、信頼は少しずつ育っていきます。本日の一言は、「顔を合わせるのは、心を通わせる第一歩」です。

★幹事報告：清水幹事

- 2月5日例会終了後、定例理事会を開催させていただきますので、理事役員の方はご出席ください。

★委員会報告

◇出席率向上委員会：河井委員長

12月出席率77.01%、修正出席率80.02%

このまま80%超えを維持したい。29日の職業奉仕委員会クラブフォーラムがメイクアップ対象であるのでふるって参加してください。



◇職業奉仕委員会：藤原委員長  
来週の職業奉仕委員会クラブフォーラムの最終ご案内。

★ニコニコ箱報告：松井副SAA

立花英司：寒さが厳しいですが皆様お体ご自愛下さい。

清水一人：最強大寒波、みなさまお氣をつけて。

山田誠一：家内誕生日、自祝。

三島敏宏：今般は弊社が不祥事を起こしてしまいましてご迷惑をおかけしております。誠に申し訳ございません。

荒山義雄：例会欠席お詫び。

宮本倫明：結婚記念日、自祝。お祝いの品ありがとうございます。

延生隆廣：例会欠席お詫び。

石井かおる：前回は欠席申し訳ありません。体調管理しっかりやります。

★大阪難波RACへのニコニコ箱報告

三島敏宏：今般は弊社が不祥事を起こし、ご迷惑をおかけしております。申し訳ございません。

累計¥255,000

★卓話 テーマ「自己紹介『私の仕事』」  
卓話者 河井美由紀会員

株式会社ビッグバンスーパーバイザー河井美由紀  
Sontaku株式会社代表取締役河井美由紀  
いつもお世話になっているレセプタントとNGK等の劇場案内スタッフは、株式会社ビッグバンスーパーバイザー河井美由紀としての仕事です。本日は、Sontaku株式会社代表取締役としての仕事の話に致します。Sontaku株式会社は一人株式会社です。法人化は4年前ですが、28年前よりSontakuは稼働しております。当初は、損得か?!銭勘定か?!等と声のかけていただく方も多かったですが、あの事件以来Sontaku＝付度として認識されるようになりました。そんなSontaku株式会社で私が行っている仕事とはですが・・・、いきなりですが、社長って、孤独です。社員の前では強いなければいけない。でも、弱音は吐けない。正論は言えるけれど、本音は飲み込んでしま



う。“これくらい自分がやればいいのか”そうやって、今日も仕事を抱えていませんか？社員との関係で、本当は“言いたいけれど言っていないこと”、ありませんか？会社では、そんな事はないけれど、人生に置き換えて、家庭内に置き換えると孤独という方もいらっしゃると思います。これ、気持ちの問題ではなく、経営の問題だと私は思います。見えない経営コスト言えないストレス・社長の業務過多・社内の空気の停滞。必ず起こっています。今、日本は、本音をいうと、パワハラ・セクハラ等と規制が多くかかっているように感じます。社長だけでなく、管理職や、教育をする社員の皆様も同じように本音を飲み込んで仕事をなさっているのではないのでしょうか？私は、この事を解決できる元が付度にあるのではないかと考えています。ここで言葉の整理をしてみたいと思います。付度と斟酌は、まったく違います。最近の日本では、付度と斟酌が、同じ意味で使われていると感じています。付度は、相手のために言う・厳しいことも伝える・行動が伴う・未来を見る。斟酌は、相手の顔色を見る・言わない選択・手心を加える・今を見る。でも私は、この二つはまったく別のものだと思っています。付度とは、相手を思って、自分に何ができるかを考えることです。それが、相手にとって厳しいことであっても、必要なら、ちゃんと伝える。嫌われるかもしれない。空気が重くなるかもしれない。それでも、相手の未来を思って言う。これは、勇気のいる行動ではないでしょうか？一方で、斟酌はどうでしょう。相手を思っている“つもり”で、相手の都合の良ように手心を加える。嫌な感情を持たせたくない。嫌われたくない。だから、何も言わない。多くの会社で起きているのは、付度ではなく、斟酌が積み重なった組織です。組織構造の問題です。本来の意味での付度が機能する組織を作るお手伝いをするのが、付度株式会社の仕事と思っています。

## 和太鼓部活動報告

1月24日(土)、当クラブ和太鼓部は、大阪拘置所において実施された慰問活動に参加いたしました。この度、和太鼓部10名で参加させていただきました。今回の活動は、西川きよし氏および月亭八方氏とともに執り行われ、当クラブ太鼓部からは計4曲の演奏を披露いたしました。力強い太鼓の響きを通じて、更生への願いと温かなエールを届ける貴重な機会となりました。今後も当クラブの精神に基づき、音楽を通じた社会貢献活動に邁進して参る所存です。 文責：日高雅哉

社長の“通訳”をしています。社長が言えない本音を、そのままぶつけるのではなく、届く言葉に翻訳する。また、管理職の方々・社員が抱えている不満や違和感を、感情のままではなく、組織で扱える言葉にする。その為の研修を致しております。

- 人間関係クリニック型研修 (家庭内関係クリニック 経営者特別バージョンあり)
- 売上につながるコミュニケーション (クレーム・社内クレームの分析・報告連絡相談の徹底)
- 社長の業務手放れ・管理職育成  
空気が変わると、行動が変わる会議が軽くなる・判断が早くなる・社長が外に出られる。このあとで、数字が変わるのだと思います。以上が私の現在の仕事です。今から考えている仕事があります。8年前に衝撃的な言葉が耳に飛び込んできました。自ら障害をお持ちの経営者が、今の日本は、健常者の方のほうが、よほど障害をお持ちで、生きにくい社会ではありませんか？今からの日本を担う女性に優しい社会構造・精神的に潰れない為の社会構造に貢献できる仕事をしたいです。アイデアがある方や、何にお金を使ってよいか困っている方は、河井までお知らせ下さい。



ストレッチ担当井原会員

